

岡山県 備中吹屋

標高約500m、山また山の吉備高原の緑をかき分けるように山道を進むと、突如、赤褐色の瓦屋根や弁柄塗りの格子などで統一された赤い家並みが現れます。「ジャパンレッド」が生まれた地、備中吹屋です。

古来、吹屋はその色合いから「あかがね」とも呼ばれた銅の生産地でした。この地の吉岡(吹屋)銅山は、江戸時代に大坂の泉屋(後の住友家)が経営に参画し、明治には岩崎弥太郎の三菱商會にわたり、日本三大鉱山のひとつとされるほど発展しました。その銅山から銅鉱石とともに産出された硫化鉄鉱石を原料として生み出された赤い顔料が弁柄です。江戸時代中期より吹屋で製造された弁柄は、陶磁器・漆器等の顔料や建築・船舶の防腐塗料として重用され、全国の市場を席捲。赤色が映える九谷焼、伊万里焼といった陶磁器や輪島塗の漆器など、日本が誇る多くの伝統工芸品に用いられ、世界の人々を魅了しました。

弁柄と銅を産出する鉱山町として栄えた吹屋には、豪商たちが、その富を誇るように弁柄や石州瓦で彩られた豪壮な屋敷を構え、赤い町並みを形作っていききました。吹屋の町には今もその繁栄ぶりを伝える家々が独特の景観をとどめ、訪れる人々を惹きつけてやみません。



世界を魅了する「ジャパンレッド」発祥の地

高梁市吹屋伝統的建造物群保存地区

吹屋の赤い町並みは、個々の屋敷が個別に好きな意匠で建てたのではなく、町全体を統一するという当時としては先進的な考え方で建てられたものです。赤褐色の石州瓦、土壁や海鼠壁、弁柄で彩色された格子などで飾られた瀟洒な家並みは、見ごたえたっぷり。また、ベンガラ染めやお食事、お土産などのお店も点在し、レトロな町並みを楽しみながら散策することができます。

- 高梁市成羽町吹屋
- 0866-29-2811 高梁市観光協会 吹屋支部
- 下町観光駐車場 100台
- 賀陽ICより車で約50分

高梁市吹屋伝統的建造物群保存地区 検索



笹畝坑道

大同2年(807年)の発見と伝えられ、戦国時代には大名が争奪戦を繰り広げた吉岡銅山。その古い坑道の一つが笹畝坑道です。江戸時代から大正時代まで操業し、黄銅鉱や弁柄の原料にもなる硫化鉄鉱を産出していました。内部は1年を通じて15℃前後とひんやり。暗く狭い坑道、ぽっかりと空いた巨大な採掘場など、冒険心をそそる神秘的な世界が広がっています。



暗がりに岩を削る人影が!

- 高梁市成羽町中野1987
- 0866-29-2145
- 4月~11月:10:00~17:00、12月~3月:10:00~16:00
- 12月~3月:火~金、12月29日~1月3日
- 大人400円、小人200円
- 20台 賀陽ICより車で約43分

笹畝坑道 検索



高梁市成羽美術館

成羽町が生んだ日本における印象派の代表的な洋画家・児島虎次郎の遺徳を顕彰するために設立された美術館。コレクションは児島虎次郎の絵画作品をはじめ、成羽地域で産出した約2億年前の植物化石なども収蔵。建築家・安藤忠雄氏の設計による建物の造形美も必見です。

- 高梁市成羽町下原1068-3 0866-42-4455
- 9:30~17:00 月(祝日の場合は翌平日)、年末年始、展示替え期間
- ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- 約90台 賀陽ICより車で約30分

高梁市成羽美術館 検索



映える?と人気のフオトスポット「記号のトイレ」

夫婦岩

標高400mの石灰岩の台地の上にそびえ立つ大塊。自然に生み出されたもので、夫岩は高さ12m、妻岩は高さ16mで愛児のような岩を抱えています。展望台からは、夫婦岩の向こうに成羽川の美しい渓谷が見渡せ、まさに絶景です。



- 高梁市成羽町布寄2787
- 約50台 賀陽ICより車で約50分

夫婦岩 高梁市 検索

羽山溪

成羽川の支流・島木川にある石灰岩でできた約2kmの渓谷。羽山テッケンと呼ばれる奇岩・巨岩が変化に富んだ景観を形作っています。自然に出来た棲龍洞(穴小屋)の一角のトンネルが県道300号線として使われており、車で通ることができます。



- 高梁市成羽町羽山 羽山溪谷駐車場 約5台
- 賀陽ICより車で約40分

羽山溪 検索

ベンガラ陶芸館

ベンガラ館に隣接しているベンガラ陶芸館では、赤い弁柄の釉薬をかけてできるベンガラ焼の土ひねりと絵付けの陶芸教室を開講しています。茶碗や湯飲みなど、自分だけのオリジナルの焼き物を作ることができます。

- 高梁市成羽町吹屋86 090-5694-8746
- 4月~11月:日・火 10:00~17:00
- 4月~11月の水~土・月、12月~3月の全日
- 陶芸体験料 500g 1,250円から(指導料込・送料別)
- 40台 賀陽ICより車で約46分

ベンガラ陶芸館 検索



希望すれば珍しい登り窯で焼くことも(年1回)

ベンガラ館

かつて吹屋の村内には弁柄工場が5、6カ所もあり、日本有数の特産地として大いににぎわいました。ベンガラ館は、明治の頃の工場が当時の姿で復元されたもので、原料の硫化鉄鉱石から赤色顔料の弁柄が出来るまでの当時の製造工程を紹介しています。

- 高梁市成羽町吹屋86 0866-29-2136
- 4月~11月:10:00~17:00、12月~3月:10:00~16:00
- 12月~3月:火~金、12月29日~1月3日 大人300円、小人150円
- 40台 賀陽ICより車で約46分

ベンガラ館 検索



工程を重ねると赤い色になる

